

## 第 48 号

発 行 所 相馬市中村1丁目2-3 (公社) 相 双 法 人 会 発 行 人 只 野 裕 一 編 集 広 報 委 員 会 発 行 日 平成 28 年 1 月 27 日

# 相双地区の復興のあゆみ



















# 公益社団法人 相双法人会

長、只野





副会長 (富岡支部長) 坂本 行生郎

気に進行し、

徐々に解除されていきますが、 医療と福祉です。震災以降、核家族化が一 不可欠なものがあります。 加えて少子高齢化であり、 日本



興

帰還に向け

前

副会長 (相馬支部長) 立谷 一郎



相まって利用できるようになれば、一層、復 (二十・八キロ)となります。道路・レールが 一富岡間が再開され、残すは富岡〜浪江間 に列車が走るようになりました。続いて 間に列車が走るようになりました。続いて し上げました。この常磐線も、安倍首相のひ 興が促進されるものと期待をするところであ 肺であり、交通網の復活とは言えない。と申 立ったが、レール・常磐線が開通しないと片 新年のお慶びを申し上げます。 大震災から五年の経過をみます。 国道六号線・常磐道の開通は見通しが

が数多く残っております。避難指示区域がしかし、まだまだ、やらなければならない 生活をする為

可したのは県であります。その原発が事故を原子力発電所は国の施策であり、それを許 歴然としています。 しまったから、 起こし、立地及び周辺市町村の生活を奪って るのは無理難題であります。 場所を一旦失った市町村に、 村で担当するようになります。 の二十年後の姿が相双地方にもたらされまし 役割分担は、 事故の責任は誰にあるのかは 医療は県で担当、

その負担を求め しかし、

福祉は市町

住む

て行わなければならない。 必要であり、その整備は国と県が責任を持っ ための条件として、 生活する条件が整えば、法人会全力にて「今 今後の帰還する条件として、 医療・福祉の整備が絶対 人間が生きる

に努力して参ります。 まで居た人の笑顔」が、 たします。 会員皆様のご健勝とお幸せを願い、 そこで見られるよう 挨拶と



副会長 (新地支部長) 直人 森



副会長 (鹿島支部長) 髙橋 德



副会長

(大熊支部長)

太田 宏明

(双葉支部長) 永田 茂男



副会長 (浪江支部長) 横山 佳弘



副会長 (小高支部長) 志賀 正幸



女性部会長 番場 三和子



青年部会長 朝田 英洋



副会長 (飯舘支部長) 髙橋 英明



副会長 (原町支部長) 渋佐 克之

(3)

す。 まし の周

震災への対応を最重要課題と位置付 知 当署では、 これまで東日本大

成二十八年の年頭に当たり、

する租税教育の推進、 0 御礼申し に取り組まれているなか、 ントにおける税の啓発活動にも積極的 は、 貢献事業や移動租税教室をはじめと 御 理 日頃から税務行政に対しまして深 野会長はじめ相双法人会の皆様に 解と御協力を賜っており、 上げます。 また、 更には各種イベ 地域社会へ 7 イナン 厚く

制度 一研修会の開催など当署の施策 広報にも特段の御協力を賜り 心から感謝申し上げま

相双

(けましておめでとうございます。

上げます。 法人会の皆様方に新年の御挨拶を申

す。 で、 談 南 適

切な指導に努める所存でござい

ま

をお願い で、 泉徴収票の早期交付につ いたします。

また、

国税電子申告・納税システム



# 相 馬税務署

内納税者の皆様に対し、 いりました。 確定申告期を迎えますが 納税緩和制度の適用に取り組んでま 組織の総力を挙げて申告相談対応 まもなく震災後五回目の 藤  $\blacksquare$ 丁寧な対応と 引き続き管 義 明

け、

告をされる方がおられると思いますの 企業の役員や従業員の皆様の中にも申 なお、 は 相馬市の相談会場と閉庁日の申告相 確定申告期には、 会員 御了承のほどお願い 行 わないこととしております 昨年まで開設しておりました の皆様には適切な年末調整と 相双法人会の会員 いたします。 て御協力 0

ただきます。 を利 繁栄の年となりますよう、 法人会の更なる発展と会員 е たしまして、 13 ~ -後になりますが ても御協力をお願 用した申告書の作成と書面 ] Τ ジの確定申告書等作成コー a X 0) 新年の挨拶とさせて 御 利 用 新し 1 11 心から祈念 国 の皆様の たします 税 提出 ナ

年が相双 庁 ホ 御 1



※事前にダイレクト納付利用届出書の提出が必要です。※届出書の提出から利用可能となるまで、1か月程度かかります。

法人会

法人会は会社経営の効率化のために e-Taxの普及を支援しています。

ご利用に際し条件、注意事項があります。 詳しくはホームページでご確認ください。

イータックス

からも親会で

講師に、

藤田相馬税務署長・宮澤相

# 絡協議会合同会員研修会 議会・第十六回 第二十三回青年部会連 本松大会 二本松市岳温泉 陽日の郷 女性部 あづま館 絡協 連

もできる限りの協力をするとの言葉を

馬年金事務所長

(二回目佐藤副所長)

を迎え講演会を行った。

講演内容は、

税務署長による

「税の講話」・「マイナ

ンバー制度について」。年金事務所長

「社会保障・税番号制度の導入に

いただいた。

部会員八名の計十八名が参加した。 研修会が二本松市岳温泉にて開催さ 青年部会・女性部会合同による会員 当会から、 青年部会員十名、

ビでコメンテーターとして幅広く活躍 れないために」現代社会において経営 議題は「経営上のトラブルに巻き込ま 上トラブルになりやすい事例を、 している、弁護士の大澤孝征氏。 人々が共感できるようお話をいただ 研修会の記念講演会講師には、 独自のユーモアを交えながら会場 実例 講演

島大会」について大会実行委員長より、 で開催される全国女性フォーラム その後式典では、来年四月に郡山市 依頼があり、 年部会の枠を 来賓の猪狩福 超えての協力 女性部会・青 島県法連会長 ターで二回に分け原町区にて、 導入されるマイナンバー制度研修会を ンター・

十月二十二日南相馬市民情報交流セ

(南相馬市原町区

月五日原町生涯学習セン



会旗の授与式を行った。 ある、会津若松法人会青年部会長へ大 ら、来年度青年部会研修会の開催地で 地代表の二本松法人会青年部会長か 青年部会大会宣言では、 今年度開催

大に研修会を閉じた。 が中締めのあいさつを担当し、 懇親会では、当会の朝田青年部会長

マイナンバー制度研修会

南相馬市民情報交流センター 原町生涯学習センター





# 向けて」。

10月22日南相馬市民情報交流センタ

さを感じられた。 百七名」となり、 百三十八名」十一月五日 参加者は、 十月二十二日 新制度への関心の高 「八十七社 「百八社

# 相双地区

# ソフトバレー

陽」。トリムシルバー「川内SVC1\_ ターにて行なわれた。参加チームは全 ディースそうま」。トリム「そふば翔 れ熱戦を繰り広げレディース優勝 交流大会が今年度も川内村体育セン 八チーム、総勢五十名。三部門に分か 第六回相双地区ソフトバレーボ ]



# 川内村体育センター

となった。

# 移動租税教室



食事を取った。

今年で五回目となる「移動今年で五回目となる「移動今年夏にオープンした「仙台うの杜水族館」。今年度も南相みの杜水族館」。今年度も南相みの杜水族館」。今年度も南相の小学生を対象に、児童の大力名が参加した。

原江町から福島市へ避難して 浪江町から福島市へ避難して 当日はあいにくの空模様だっ 当日はあいにくの空模様だっ が、参加した児童たちには関 たが、参加した児童たちには関 に関するDVDで税について学 に関するDVDで税について学 が、水族館の中では、元気いっ が、水族館の中では、元気いっ は塩釜市にある「武田の笹かま は塩釜市にある「武田の笹かま は塩釜市にある「武田の笹かま は塩釜市にある「武田の笹かま

なったのではないかと思います。か合わせをおみやげにあげましめ合わせをおみやげにあげましめた」というクッキーの詰きました」というクッキーの詰



昼食会場にて



イルカとのふれあい



水槽の前でピース

という声を頂き、

京から

長の藤澤徳義さんも地元から参

加し

来年度も是非参加したい 来年への活力となった。

# 平成27年度震災・原発事故被害者への支援事業 会員親睦交流会(福島会場)

馬の避難所の状況や町の様子、開催地馬の避難所の状況や町の様子、開催地馬の避難所の状況や町の様子、開催地馬の避難所の状況や町の様子、開催地 目前各い 十一月二十六日・福島市「ホテル辰巳屋 ンホテル椿山荘」の二会場で開催した。 の思い出などを語りあってもらうのをなが現状の確認、今後について、震災る会員を対象に、集まる機会を作り、昨年同様に現在相双地区外へ避難して の避難所の状況や町の様子、開催:会場では、只野会長から震災当時1的として行った。 年で二回目となる会員親睦交流 日 · いわき市「いわきワシント 61

震災当の開催地代 わ

会ってなかった人の顔を見れてよかった」 参加者からは、「楽しかった」「震災後 駆けつけてくれた。また、前富岡前小高支部長の鈴木喜八さんが東 の東 L

# Tatsumiya

只野会長より震災当時の様子などをお話頂いた



柳沼厚生委員長より開催のあいさつ



AIU損害保険会社豊福郡山支店長より乾杯のご発声



開催地代表あいさつ 原田理事より震災当時のことや現状をお話頂いた。



スカットボール 優勝者 原田 雄一 氏





談話

# 平成27年度震災・原発事故被害者への支援事業 会員親睦交流会(いわき会場)



いわき会場参加者集合写真









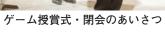


スカットボール・優勝者 清信 正幸 氏











今年も昨年に引き続き相双管内の多くの小学校から「租税教室を開催して欲し い」との要望があり、今年度は新地の駒ケ嶺小学校から始まり、全10回・14校の 学校に法人会の青年部会・女性部会の役員・会員が講師として訪問させていただ きました。

当日はDVDを見たり、一億円のレプリカに触れたりと普段の授業ではできない ような体験をしました。

## 租税教室日程

月日	学校名	講 師 名
12/2	駒ケ嶺小	栗原三和子 永橋 律子
12/3	広 野 小	朝田 英洋 熊川 喜仁
12/8	太 田 小	高野ヒデ子 門馬 緑
12/9	小 高 小	齋藤 イネ 齋藤 才子
12/10	原町第三小	伏見 俊一
12/14	高 平 小	遠藤 充洋
12/15	草野小飯樋小臼石小	伏見 俊一
12/18	福意原外	番場三和子 竹内 久子 佐々木優子 齋藤 イネ 齋藤 才子
1/26	日立木小	菅原多美子 椎谷 節子
1/28	大 甕 小	朝田 英洋 熊川 喜仁





12/15 草野小・飯樋小・臼石小 (飯舘三校)





12/18 福浦小・金房小・鳩原小 (小高三校)





12/2 駒ケ嶺小学校





12/3 広野小学校





12/8 太田小学校





12/9 小高小学校





12/10 原町第三小学校





12/14 高平小学校

# 相馬税務署からのお願いです!!

国税庁ホームページ『確定申告書等作成コーナー』の利用について、代表者の方、社員及び従業員の皆様へご周知をお願い申し上げます。

2月1日(月)から3月15日(火)まで、平成27年分所得税及び消費税等の確定申告を受け付けるに当たり、当署から法人会会員の皆様へお願い申し上げます。

代表者の方、社員又は従業員の皆様におかれましては、給与所得以外の所得の申告、あるいは医療費控除や住宅ローン控除などの税の軽減・減免又は還付を受けるため、確定申告を行う方もおられることと存じます。

東日本大震災発生以降、当署の申告会場には多くの納税者の方に足を運んでいただいており、大変混雑して待ち時間が長時間に及び、申告書の作成完了・提出までに1時間30分~2時間余りを費やし、ご来場者の方へご迷惑とご負担をおかけしている状態となっております。

この状態を解消するため、当署ではICT申告の普及と申告会場への来場者の削減のため、 国税庁ホームページ『確定申告書等作成コーナー』を利用した申告書の作成を勧奨しております。

『確定申告書作成コーナー』では、画面の説明に従って源泉徴収票や証明書等から文字や金額を入力するだけで、複雑かつ慣れない所得金額や控除額の計算を自動的に行うため、安心して申告書を作成することができます。

『確定申告書等作成コーナー』で作成した申告書は、<mark>紙に印刷し、郵送等で税務署に提出</mark>することができます。

会員の皆様におかれましては、代表者の方、社員及び従業員の皆様に対しまして、平成 27 年分所得税及び消費税の確定申告において、是非ともこの便利なツールをご利用いただき、郵送等による申告書の提出の周知方をどうぞよろしくお願い申しあげます。



シリー Ż 避難先からのメッセージ

# 難し

# 折笠工業株式会社

# 代表取締役 折 笠 芳 春

事業を震災前の状態に戻すには人材

親戚宅で一夜を過ごし、翌日の十二日、 向かいました。その後、 口の道を歩いて、 夜明けとともに津波のガレキのドロド 戻ることができず、 震と、その直後の予想を超える大津波 高区を離れざるを得ない状況になって 小高区は国からの避難指示のため、 原発事故により、半径二十キロ圏内の による東日本大震災に遭遇しました。 経験したこともない激しい揺れの大地 しまいました。 当日は小高区の自宅及び事務所には 平成二十三年三月十一日、 自宅及び事務所へと 小高区役所近くの 大津波による 今までに 小

日の事のように思い出します。 であることが分りホッとしたことを昨 ないかという話を聞き、津波にのまれ 浪江町の県道小高広野線 てしまったのかと思いましたが、 請戸あたりを車で移動していたのでは の従業員から、 く連絡が取れず行方不明の状態で、他 震災直後から従業員の一名だけが全 津波が来た時間帯には (浜街道 無事 0)

町区、 えたのを契機に、客先の要請に応える た。四月下旬に相馬市へと避難先を変 難先を出て、夜に戻るような毎日でし が、道路事情が悪いため夜明け前に避 現地での情報把握のため通いました らはほぼ毎日、 避難しましたが、 災後十日程過ぎてからの事でした。 の仮設に事務所を移し、業務を継続し 一十四年六月に南相馬市原町区信田沢 、く、相馬市に仮事務所を構え、平成 従業員全員と連絡が取れたのは、 小高区を離れてからは、 会津若松市、 南相馬市へ諸手続きや 利府町へ避難してか 宮城県利府町へと 南相馬市原 震

程になり、 災のあった三月の下旬から一人、また だろうかと思いましたが、従業員が震 原発事故で、 丸となって頑張っております。 人と戻ってきてくれて業務に復帰 避難直後は震災の被害の大きさと、 七月下旬頃からは震災前の約半数 現在少ないながらも従業員 今後の事業はどうなるの

て現在に至っております。

す。 難先の家族と離れ単身でアパートに住 戻ってきてくれた従業員の中には、 る思いです。 今も頑張ってくれている方もいま 本当に感謝しています。 頭 が下が 避

と思います。 があり、 早い復旧復興の為、 世話になったふるさと小高の一日でも 確保、 新しい客先の開拓等多くの課題 時間がかかりそうですが、 貢献していきたい お





か、と考えおります。

K

震災から早くも五年の月日が経と 「まだ五年しか経ってい 私は前向きに、 人により月日 皆様はどのよ ある人

多くいることと存じております。 り住む場所を奪われてしまった方も でました。大津波や、 の復興、 しかし、震災に負けるか!と地 地域貢献をがんばっている 原発事故によ 元

ます。 うに感じられるでしょうか。 うとしておりますが、 あなたにも、マイナンバー。 そう遠くないうちに訪れるの 前者の感じ方をするようにしており の感じ方が違います。 ないのか」という声。 声があれば、 は「もう五年も経ったのか」という 方を見ていると、 はじまります。 震災で、相双地方は甚大な被害が 平成2 10月 イナン 一人ひと 編 集 相双地方の復興も 後 記 つではな 0570-20-0178 マイナンバー III. **《**内爾府